



気持ちの入った語りで私たちを奇怪な世界へといざないます。

世にも奇妙な不思議の世界へ

大人のためのおはなし会

ののいち子ども読書の日の7月23日(月)、学びの杜ののいち カレードでは初の試みとなる大人のための朗読会がありました。大きな照明を落とした夕刻の薄暗い室内、雰囲気のあるランプだけがいくつか灯る中で、参加者18人は聞こえてくる怪しげな話を静かに楽しみました。カレードサポーターが朗読した小泉八雲の『怪談』や泉鏡花の『蒙古』などは効果的なBGMや光の演出も相まって雰囲気抜群。参加者らは口々にとても良かったと話し、好評を博したイベントとなりました。

ツエーゲン金沢に熱い声援を！

野々市市ホームタウンサンクスデー

7月25日(水)、西部緑地公園陸上競技場(金沢市)でサッカーJ2リーグに所属するツエーゲン金沢と横浜FCの試合が行われました。昨年好評だった野々市市ホームタウンサンクスデーが今年も実施され、市内在住の親子1,000組が無料で招待されたほか、市内在勤・在学者も特別価格で観戦。5,445人が訪れた試合では、ゴールポストに当たる惜しいシュートを放つなど、ホームのツエーゲン金沢が優勢に試合を進めましたが得点を奪うことはできず、0-0の引き分けに終わりました。



ホームの大声援を受け、最後までゴールを狙いました。



発表に使う写真はみんなで意見を出し合って選びました。

夏休みの特別なクリエイティブ体験

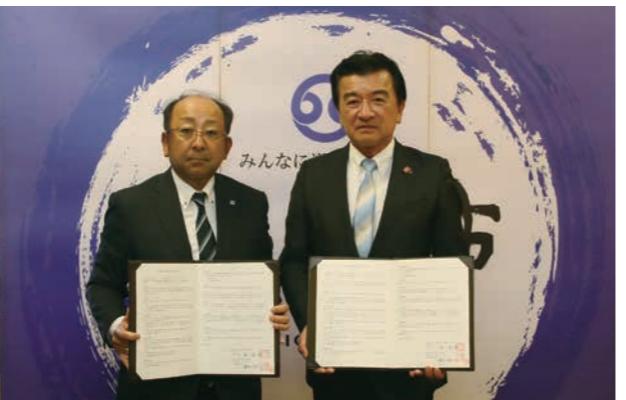
こどもミュージアム2018

7月下旬から8月上旬の4日間、学びの杜ののいち カレードでこどもミュージアム2018が開催されました。ののいちはぐドットネット運営委員会が主催したこの催しには4日間で約90人の小学生が参加。他校の児童との交流に戸惑う子もいましたが、一緒に音楽バンドを組んだり、カメラマンになって果物や友達の写真を撮影するなど、体験を通じてすぐに打ち解けました。単に体験するだけでなく、みんなの前で発表する場面もあり、子どもたちは大きく成長したようでした。

災害時の心強い味方

災害廃棄物の収集運搬等に関する協定締結式

8月1日(水)、市と(株)トスマク・アイは「災害廃棄物の収集運搬等に関する協定」を締結しました。災害時の廃棄物収集・運搬の協力を得ることにより、災害からの早期復旧が期待できます。粟市長が「災害復旧の第一歩は廃棄物の処理から始まる。この協定は市民の安心につながるもので大変ありがたい」と感謝を述べると、(株)トスマク・アイの藤井代表取締役社長は「災害に対する準備をしっかりと整え、万が一の際は使命感を持って取り組みたい」と決意を語りました。



今回の協定締結で、市の災害協定締結数は48となりました。

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

涼しい音色と人の集まり 賑わいの喜多家 風鈴づくり体験

8月4日(土)に重要文化財喜多家住宅で風鈴づくりが開催されました。参加者や講師の金沢工業大学の土田教授、ゼミ生など総勢約50人が参加し、蚊取り線香が香るどこか懐かしい雰囲気の中で、夏の風物詩が完成。

「金沢風鈴」と名づけられている今回の風鈴は、真鍮のパイプと5円玉が触れることで音がなる仕組み。パイプをそれぞれ違う長さに切ることで、異なる音色を楽しめる工夫がされています。夏の喜多家に、涼やかな音色と楽しい声が溢れるひとときが流れました。

姉妹で参加した野々市中学校3年生の中谷さんは「ガラスの風鈴は見たことがあるが、紙で作れることにびっくり。夏っぽい模様を書きました」と楽しそうに話していました。



1. 完成した風鈴は喜多家の縁側と郷土資料館に飾りました。
2. 細かい作業は土田ゼミの学生がフォロー
3. 風鈴を通して世代を超えた交流が生まれました。



ゆかたで伝える日本の夏

外国人の着付け体験

「外国人のための日本語教室inののいち」では、7月18日(水)に情報交流館カメリアでゆかたの着付け体験を行いました。このイベントは外国人に日本文化を気軽に楽しんでもらいたいと企画されたものです。過去には七夕飾りの製作なども行われており、日本の文化に親しむ良い機会となっています。この日着付けを体験した王天嬌さんは「きものを初めて着ました。すてきですね」と話しました。今後も書道体験など魅力的なイベントの開催を予定しています。



涼しげなきもの姿がとっても似合っています。



おいしいカレーに夢中！あっという間に食べ終わりました。

地元の野菜はやっぱりおいしい！

サマーカレー給食

7月20日(金)、市内小中学校の給食で野々市産の野菜を使ったサマーカレーが登場しました。サマーカレー給食は、地元の食材を通じて地域の自然や文化への理解を深め、食に対する感謝の気持ちを育むために平成18年から実施しています。今年は隠し味に翠星高校の生徒が作ったヤーコンジャムが使われました。菅原小学校では6年生の児童が野菜生産者や翠星高校生徒と交流。児童からは「野菜が甘くておいしい」「苦手な野菜も食べやすかった」と満足の声が聞かれました。